

第3回KEN-Vi文化セミナー
せのお かつば
妹尾河童 講演会

「河童が語る舞台裏おもて」と題して、200枚のスライドを映写しながらの“ビジュアル・トーク”です。言葉で語るだけでは伝わらないことが、映像と一体となることで、舞台裏の秘密が次々と明らかにされていく仕掛けになっています。今まであまり舞台を観たことがない人にも、見知らぬ世界を旅するような面白さと驚きを感じてもらえるはずです。すでに演劇に関心を持っている人や、舞台美術に興味のある人にも、きっと予想を超えた未知との遭遇があるはずです。舞台美術のデザインを発想する原点から、それが劇場の舞台に組み立てられていくプロセスは勿論、手品のような上演中の場面転換の工夫まで、あますところなく紹介します。お楽しみに……。

河童が語る 舞台裏おもて



せのお かつば
妹尾河童 (舞台美術家・エッセイスト)

1930年、神戸生まれ。グラフィックデザイナーを経て、1954年独学で舞台美術家としてデビュー。演劇、オペラ、ミュージカルなど、ジャンルを越えて幅広く活躍中の、現代日本を代表する舞台美術家である。『紀伊国屋演劇賞』『サントリー音楽賞』『芸術祭優秀賞』『読売演劇大賞』ほか多数の賞を受賞。またエッセイストとしても知られ、ユニークな細密イラスト入りの著書、河童が覗いたシリーズの『ヨーロッパ』『ニッポン』『インド』など、お馴染みの著書が多い。小説では、戦中・戦後の神戸を舞台にした『少年日』が300万部を突破する驚異的なベストセラーとして全国で話題を集め、『毎日出版文化賞・特別賞』『兵庫県文化賞』『兵庫県々盛高揚賞』『神戸市文化賞』などを受賞している。なお国内だけではなく、英語、中国語、韓国語にも訳され、「第2次大戦中の日本の状況が詳細が判る」と海外でも理解され評価されている。

2010年 6月5日(土)

開場 13:00 開演 13:30

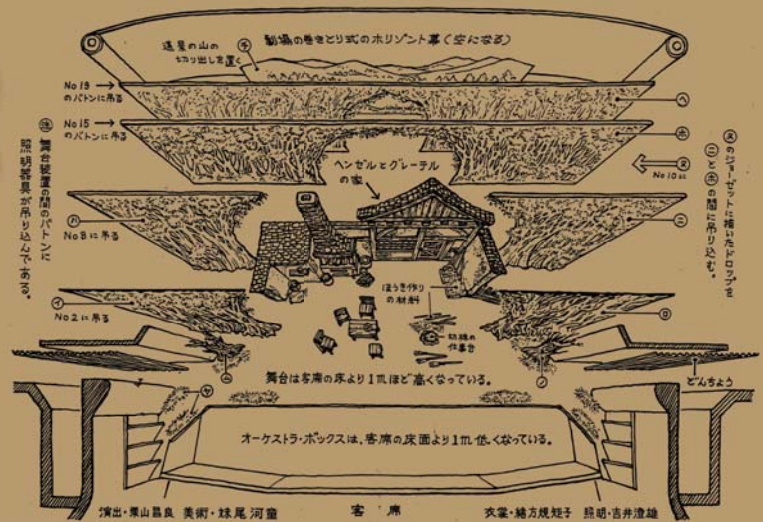
兵庫県立美術館ミュージアムホール

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 TEL.078-262-0901

募集人数 250名

受講料 1,500円(全席自由席)

オペラ『ヘンゼルとグレーテル』第1幕 (日生劇場)



交通案内
 阪神岩屋駅から南に徒歩約8分
 JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
 阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ
 *ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 (HAT神戸内)
 TEL 078 262 0901 (代)
<http://www.artm.pref.hyogo.jp>



主催：兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

お問い合わせ：兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会 TEL：078-262-0908
 美術館ホームページ：<http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

チケット購入方法

兵庫県立美術館ミュージアムショップ TEL：078-265-6655

平成22年4/8(木)より販売開始

ローソンチケット(Lコード：58157) TEL：0570-084-005

※前売り券のみの販売となります。当日券の販売はございませんのでお早めにお買い求めください。